

第19回通常総会開催される

令和6年6月2日(日)、会場の埼玉県県民活動総合センターに会員、役員50人が出席して第19回通常総会が開催されました。

出席は団体正会員53団体中23団体、個人正会員は出席13人、及び書面評決書提出を併せて過半数を超えた総数249人の総会となりました。

阿部代表理事のあいさつは、事前に挨拶要旨を配布しており、特に、「現在、日本は高齢化が急激に進むことで、認知症発症率も高くなり、2040年には65歳以上の発症率は20%、2050年以は25%と予測されている。

一方、認知症発症を防ぐ(抑える)には、人と人の交流、日常生活の中で趣味を持つことが大きな効果があることが統計上示されており、趣味のそば打ちで多くの仲間と交流を重ねることが認知症予防となることを広めていくことがそばネットジャパンの発展に繋がる。」と強調しました。

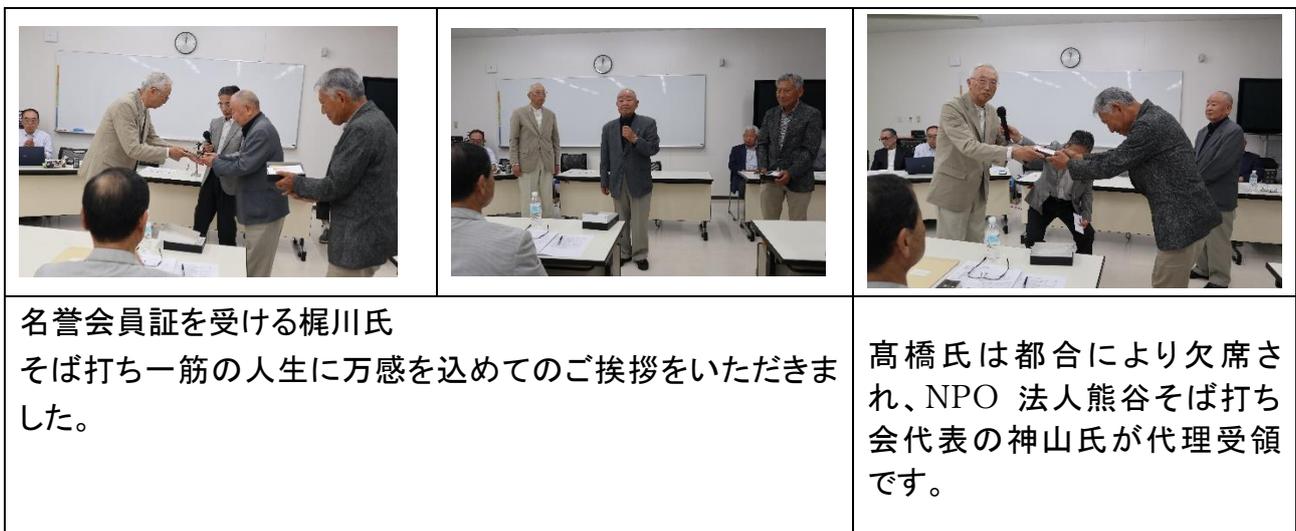
議事の詳細はジャパンHPの「第19回通常総会議事録概要」及び「第19回通常総会議案書(議決後)」を参照してください。

以下画像で紹介



総会終了後には2人の名誉会員に会員証の授与、理事を18年務めてこの度辞任した飯田良男氏に感謝状を、さらに、田中憲一氏に Diamond そばパートナーズ(1000 単位)の盾が授与されました。

名誉会員証受賞



氏名	特別の功績
<p>高橋 侑一 (昭和22年8月9日生)</p>	<p>所属 特定非営利活動法人熊谷そば打ち会 上記団体は法人化前「熊谷そば打ち愛好会」として当法人の設立発起人として参画し、中核会員として当法人の事業推進、会員拡大に多大な貢献をいただきました。 高橋氏は熊谷そば打ち愛好会会長となられた2011年から2024年まで14年間当法人理事として活躍されました。 2016年5月には、高橋氏のリーダーシップのもと熊谷そば打ち愛好会の NPO 法人化を果たし、熊谷地区を中心として社会貢献活動をなど活発な事業推進をされる団体としての地位を確保しており、そばネットジャパンを支える団体正会員の会長としての実績を讃えるものです。</p>
<p>梶川 光二 (昭和18年5月5日生)</p>	<p>所属 分桜流・彩次郎蕎麦打ち会 上記団体正会員は当法人の設立発起人であり、梶川氏は2008年5月から上記団体の役員として理事に就任し、当団体の発展に寄与されてきました。 2020年のそばネットジャパン移行時から、執行役員として技能検定制度確立のため尽力し、特に五段の郷土そばに戸隠そば、六段のさらしなそば導入に関して中心的役割を果たし、全国に例のないそばネットジャパン独自の段位認定制度確立に貢献した実績を讃えるものです。</p>

定款抜粋

(会員の種類)

第6条 この法人の会員は、次のとおりとし、正会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ個人又は団体
- (3) 名誉会員 この法人の目的事業の範囲において、特別の功績があり、理事会の議決を経て推薦された個人

<p>そばネット埼玉設立から理事を務めた飯田氏に感謝状を贈呈(ご本人は欠席のためさいたま蕎麦打ち倶楽部新都心会長の千葉氏が代理受領です。)</p>	<p>Diamond そばパートナーズ(1000 単位)の盾を授与された田中憲一氏(久喜そば倶楽部)</p>

NPO 法人そばネットジャパン
事務局総務部

URL:<https://www.sobanetjapan.com>
E-mail:snjoffice@sobanet-japan.com